

平成23年11月期（平成22年12月1日～平成23年11月30日）

ニッケ（日本毛織株式会社） 決算説明資料

当期の連結業績は、売上高87,659百万円、営業利益5,056百万円、
経常利益4,942百万円、当期純利益3,102百万円となりました。



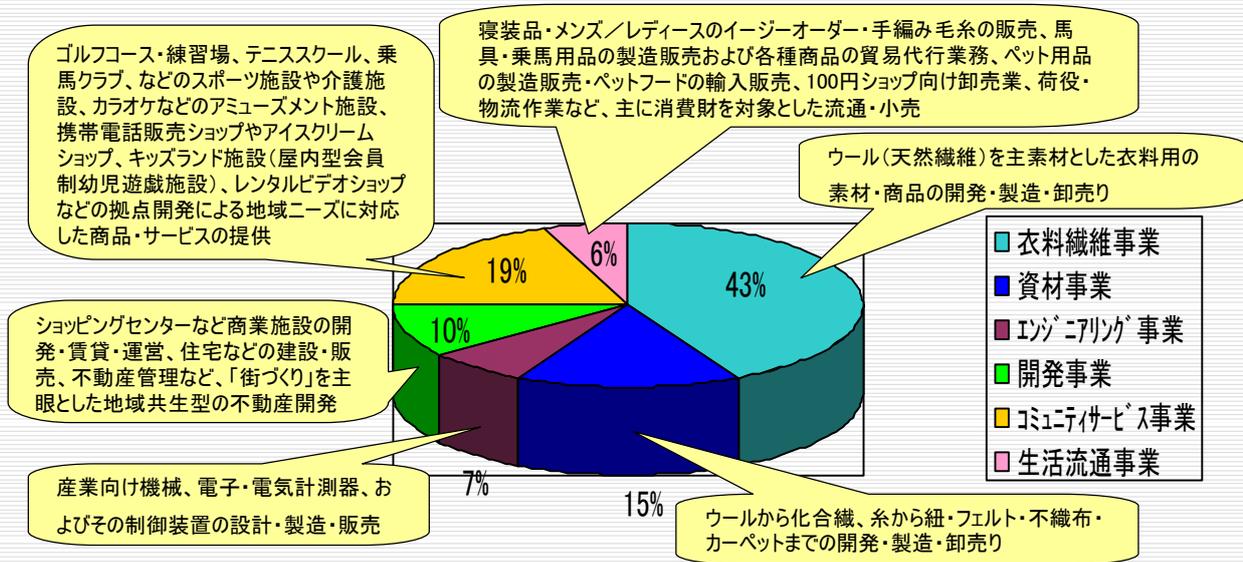
“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

<http://www.nikke.co.jp>

目次-Contents-

1. ニッケグループの事業の概要について
2. 主要なグループ会社について
3. 連結業績の概要について
4. 連結業績の概要について(対予想比)
5. ～10. 各セグメントの概要について
11. 連結B/S 連結C/F
12. 自己資本比率・ROA・ROEの推移
13. 設備投資・減価償却費・連結有利子負債の推移
14. 次期連結業績予想
15. ～20. 各セグメントの次期予想と取組み
21. NN120ビジョンの達成に向けて
22. 株主還元方針
23. 過去20年の配当額の推移
24. ニッケの魅力と強みについて

1. ニッケグループの事業の概要について



経営理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

- ウールで培った技術の追求と環境への配慮により、新しい価値を創造します。
- 心を込めて人間家族や地域社会に貢献し、たしかな生活文化を創造します。

経営方針

- 社員の幸せを追求し、希望と生きがいの持てる企業グループを目指します。
- 企業価値の最大化を通して、顧客や株主との永続的な信頼関係を築きます。
- 研究開発を強化し、品質と感性・革新性に根ざしたNo.1の商品とサービスを提供します。
- 変化をチャンスと捉え、既存事業の改革と新規事業の開拓に挑戦します。
- 人材開発を重視し、各分野におけるプロフェッショナルとして行動します。

- 起業の原点であるウールの持つ「やさしく、あったかい」をニッケグループの企業イメージとして捉え、人々にもとの心の豊かさを提供し、地球環境と調和することを経営理念と致します。
- 「繊維」「非繊維」の意識を撤廃し、ニッケグループを共通の経営理念・経営方針で統一された事業複合体と考え、さまざまな分野でお客様に満足頂ける商品やサービスを提供して参ります。
- 経営理念に裏打ちされた事業の成長を通じて、企業価値を持続的に高めて参ります。このために、グループ社員の一人ひとりが主役となって、情熱と誇りを持ち、夢を実現できる企業風土を具現化して行きます。

2. 主要なグループ会社について

●衣料繊維事業

(株)ナカヒロ（大阪市中央区）、アカツキ商事(株)（東京都墨田区）、
佐藤産業(株)（東京都千代田区）、大成毛織(株)（愛知県一宮市）、
(株)中日毛織（愛知県一宮市）、尾州ウール(株)（愛知県一宮市）、
青島日毛織物有限公司（中国山東省）、
江陰日毛紡績有限公司（中国江蘇省） 他

●資材事業

アンビック(株)（兵庫県姫路市）、(株)ゴーセン（大阪市中央区）

●エンジニアリング事業

(株)ニッケ機械製作所（兵庫県加古川市）
(株)ニッケテクノシステム（東京都町田市）

●開発事業

ニッケ不動産(株)（神戸市中央区）

●コミュニティサービス事業

(株)ニッケ・ケアサービス（兵庫県加古川市）
(株)ニッケレジャーサービス（愛知県弥富市）
ニッケアウデオSAD(株)（神戸市中央区）
(株)ニッケインドアテニス（愛知県あま市）
(株)ジーシーシー（大阪市中央区） 他

●生活流通事業

ニッケ商事(株)（大阪市中央区）、双洋貿易(株)（神戸市東灘区）、
(株)ニッケ物流(株)（愛知県一宮市）、(株)友栄（大阪府枚方市） 他

I. 第181期(2011年11月期)実績

3. 連結業績の概要について

衣料繊維の回復と新規事業の拡大により増収増益決算

	2010.11期 (単位:百万円)	2011.11期 (単位:百万円)	前期比	
			(単位:百万円)	(単位:%)
売上高	84,831	87,659	2,828	3.3%
売上原価	64,598	66,485	1,887	2.9%
販管費	15,615	16,118	503	3.2%
営業利益	4,617	5,056	439	9.5%
経常利益	4,733	4,942	209	4.4%
当期純利益	2,148	3,102	954	44.4%

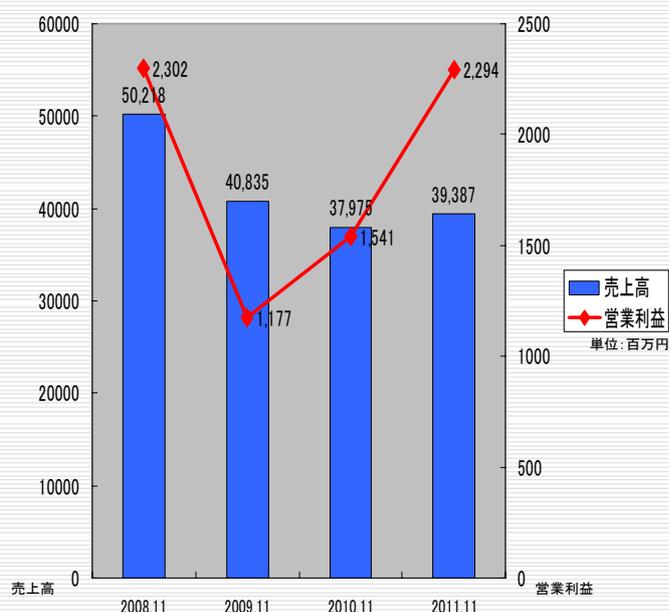
売上高は主力の衣料繊維事業における売糸販売単価の上昇と制服素材の好調及びコミュニティサービス事業と生活流通事業におけるキッズランド・ビデオレンタルや生活雑貨卸等の新規事業拡大により増収となった。利益面では衣料繊維事業が前期に取り組んだ国内外工場再編により製造部門損益が改善されたこと等により、営業利益・経常利益・当期純利益それぞれにおいて増益となった。

4. 連結業績の概要について（対予想比）

売上高、当期純利益において計画を上回る

	2011. 10. 7付 業績予想 (単位：百万円)	2011. 11期 実績 (単位：百万円)	増減 (単位：百万円)
売上高	87,500	87,659	159
営業利益	5,200	5,056	-144
経常利益	5,150	4,942	-208
当期純利益	3,000	3,102	102

5. 衣料繊維事業の概況について

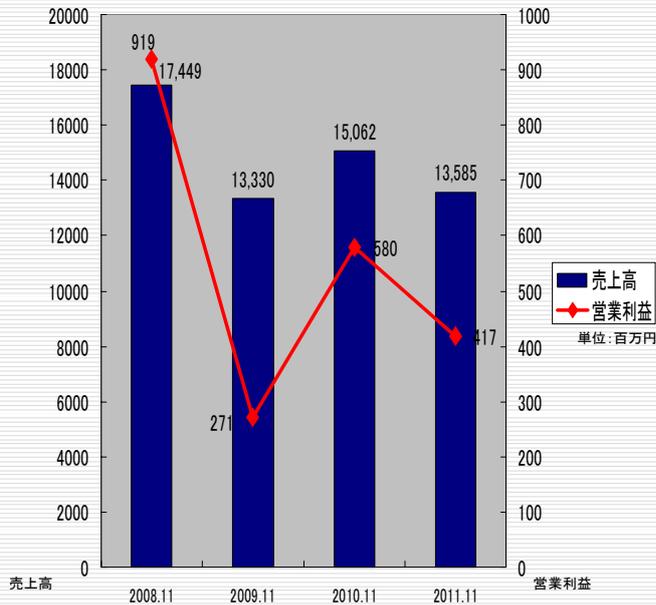


【概況ダイジェスト】

売糸は販売数量が前期を下回るも、原毛価格が高値で推移したため増収◆**学校向け制服素材**は流通段階の在庫調整が一巡し平成24年商戦向けの出荷も好調で増収◆**官公庁向け制服素材**は予算削減という厳しい市場環境が影響し減収◆**一般企業向け制服素材**は、大口物件の受注増加により増収◆**一般衣料向け素材**においては高付加価値素材の受注増加と新規顧客向けの販売増が貢献し増収◆**海外向け事業**では北米向けを中心に大幅な増収。欧州においても、当社ブランドの認知度が高まり高級ブランド向けに販売が順調に推移。



6. 資材事業の概況について

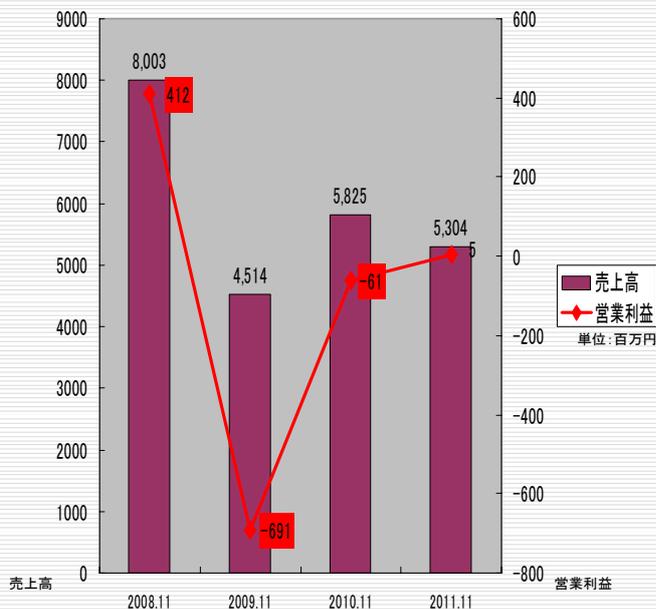


【概況ダイジェスト】

産業資材では、フェルトが楽器用途向けにて堅調に推移も、不織布及び糸・紐は震災の影響による自動車関連の減産と地デジ対応の一巡によるテレビの不振が大きく影響し減収◆カーペットにおいては、家庭用途向け、業務用途向けとも軟調で減収◆生活用資材では、震災の影響が大きかったラケットスポーツ用品に加え、海外OEMも不振で減収。釣り糸は、徐々に回復を見せるも、米国向けOEMの不振が響き減収。



7. エンジニアリング事業の概況について

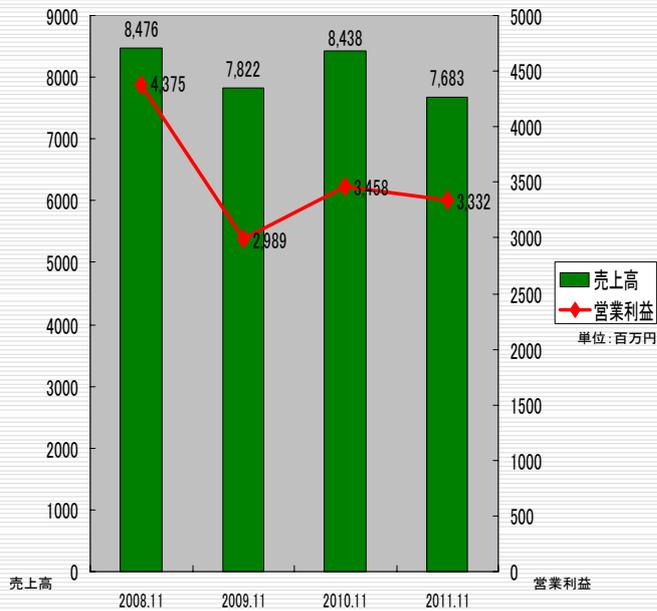


【概況ダイジェスト】

産業向け機械においては受注が回復基調にあるも出遅れが響き減収◆電源・計測器においては、代理店、学校等への地道な営業活動に努めるも減収◆画像検査機においては、3次元検査装置が市場で評価され増収。



8. 開発事業の概況について

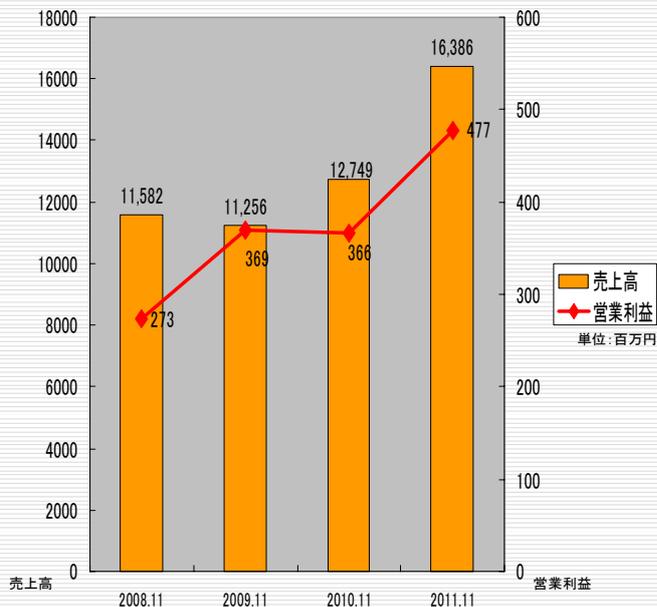


【概況ダイジェスト】

商業施設運営事業においては、「ニッケコルトンプラザ」(千葉県市川市)で節電避暑地の指定を受け、また「ニッケパークタウン」(兵庫県加古川市)でも納税申告相談会場を提供するなど集客に努めるも、消費低迷により来客者数が減少し、既存店の賃料減額や空き区画の継続なども影響し減収(㈱ニッケコルトンサービスのコミュニティサービス事業への移管も減収要因)◆**不動産事業**においては、依然として既存テナントの撤退及び賃料引下げ要請などの影響を受けているも、平成22年11月に取得した賃貸マンション(大阪府吹田市)の収益などが寄与し増収。



9. コミュニティサービス事業の概況について

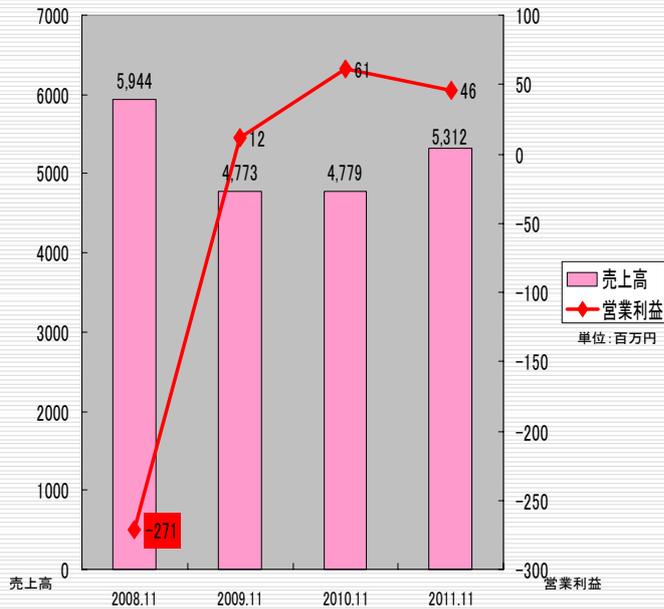


【概況ダイジェスト】

スポーツ事業においては、インドアテニススクールが「ニッケテニスドーム小豆沢」(東京都板橋区)の新規開校や、当期より㈱ニッケコルトンサービスの統合により増収◆**介護事業**においては、デイサービス事業・小規模居宅介護事業ともに利用者が順調に伸び、また新しくオープンした認知症デイサービスの利用者も順調に増加し増収◆**アミューズメント事業**では、個人消費の冷込みが厳しく減収◆**携帯電話販売事業**では、スマートフォン市場が急速に拡大し販売台数が増加し増収◆**キッズランド事業**においては、7月の「ニッケピュアハートキッズランドアルパーク広島」(広島市西区)のオープンが寄与し増収◆**ビデオレンタル事業**では積極的な新規出店などが寄与し増収。



10. 生活流通事業の概況について



【概況ダイジェスト】

寝装品においては、百貨店・ギフト向け等が低調も、東日本大震災以降に災害救助毛布の需要が急増したことにより増収◆イージーオーダーにおいては、節電(クールビズ)の推進が影響し減収◆手編み毛糸においては、震災以降の講習会の中止などで減収◆馬具・乗馬用品においては、主力販売先への売上が伸び悩み減収◆貿易代行業務においては、新規取引が売上げに貢献◆ペット用品においては、顧客の買い控えに加え、他社との競争も一段と激しく減収。ペットフードも、顧客の低価格志向が止まらず減収◆100円ショップ向け卸売業は買収した株友栄を当第3四半期から連結し増収に貢献。



11. 連結B/S 連結C/F (単位: 百万円)

単位: 百万円

連結貸借対照表(要旨)	H23. 11	H22. 11
資産合計	111,392	113,021
流動資産	58,940	35,351
固定資産	52,452	55,105
有形固定資産	33,905	35,351
無形固定資産	489	532
投資その他の資産	18,057	19,221
負債合計	43,750	44,022
流動負債	30,615	28,948
固定負債	13,135	44,022
純資産合計	67,642	68,998
株主資本	67,037	67,424
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	4,544	4,543
利益剰余金	63,542	61,776
自己株式	▲7,514	▲5,361
評価・換算差額等	▲248	791
少数株主持分	853	782
負債・純資産合計	111,392	113,021

単位: 百万円

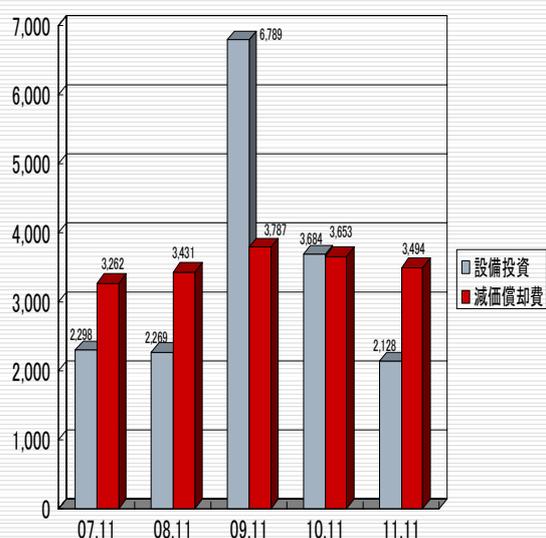
連結キャッシュフロー計算書(要旨)	H23. 11	H22. 11	増減
営業活動によるキャッシュフロー	4299	9194	-4895
投資活動によるキャッシュフロー	-2183	-1098	-1085
財務活動によるキャッシュフロー	-5023	-6936	1913
トータルキャッシュフロー	-2884	1142	-4026
現金及び現金同等物の換算差額	23	-16	39
現金及び現金同等物の期末残高	10247	13059	-2812

12.自己資本比率・ROA・ROEの推移

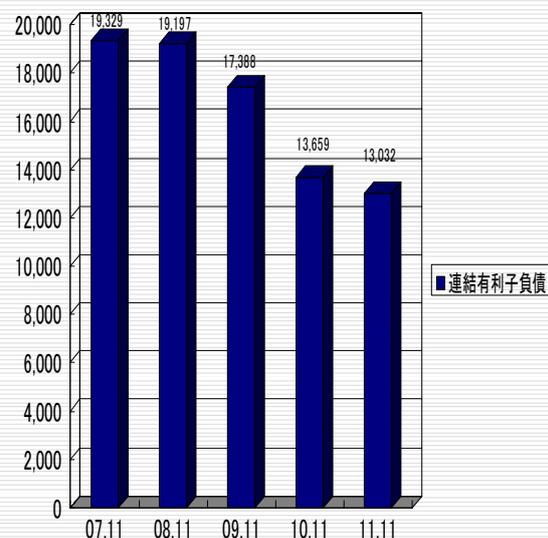
	2008.11実績	2009.11実績	2010.11実績	2011.11実績
自己資本比率	55.70%	58.90%	60.40%	60.00%
ROA (総資産利益率)	3.05%	0.65%	1.87%	2.78%
ROE (自己資本利益率)	5.49%	1.14%	3.13%	4.64%

13.設備投資・減価償却費・連結有利子負債の推移

単位:百万円



単位:百万円



II. 第182期(2012年11月期)計画

14.次期連結業績予想

資材事業、エンジニアリング事業での産業向け受注増やコミュニティサービス事業における介護、新規事業の積極拡大により増収を目指す

	2011.11期 実績 (単位：百万円)	2012.11期 予想 (単位：百万円)	増減 (単位：百万円)
売上高	87,659	93,000	5,341
営業利益	5,056	5,500	444
経常利益	4,942	5,400	458
当期純利益	3,102	3,000	-102

エンジニアリング事業で産業向けFA機械と画像検査機の受注増、コミュニティサービス事業における介護事業やキッズランド・ビデオレンタル等の新規事業の拡大により増収を計画。衣料繊維事業の海外向けの建て直しや、資材事業とエンジニアリング事業の増収等により増益を見込む。

15.衣料繊維事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 39,532百万円（前期比 0.4%増）
営業利益 2,700百万円（前期比 17.7%増）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①小生服の市場創出と販売拡大
- ②海外販売の拡大と適地適品生産の推進による収益性向上
- ③世界最高級素材「GOLDEN-MAF」を核としたNIKKEブランドの世界市場への浸透
- ④地球にやさしい環境配慮型の商品企画や取組の展開推進
- ⑤開発拠点の統合による開発提案力の強化やリードタイムの短縮

16.資材事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 14,371百万円（前期比 5.8%増）
営業利益 550百万円（前期比 31.9%増）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①新商品や品質向上による国内市場のシェア拡大
- ②国際部門の強化による新興国市場での事業拡大
- ③他社とのコラボレーションによる商品開発や事業拡大のスピードアップ
- ④オンリーワンの新商品や差別化技術の創出
- ⑤国内外生産体制の最適化

17.エンジニアリング事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 6,670百万円（前期比 25.8%増）
 営業利益 169百万円（前期比 3380.0%増）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①固有性や優位性のある商品に注力した国内外での販売拡大
- ②国内産業の海外シフトに対応した海外事業の積極展開
- ③グループ内外の技術の融合による技術優位性の強化
- ④次世代新商品の開発
- ⑤国内外生産販売体制の再構築

18.開発事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 9,470百万円（前期比 23.2%増）
 営業利益 3,000百万円（前期比 10.0%減）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①地域と一体となったニッケ加古川パークタウン周辺地区の「街づくり」の立案
- ②地域顧客満足の追求を通じたショッピングセンターの入館者数および収益の向上
- ③商業賃貸施設のリーシング強化による稼働率向上
- ④PM(不動産運営管理)やBM(ビルメンテナンス管理)の新規受託
- ⑤節電対策や環境設備投資等の環境に配慮した取組の推進

<開発事業において現在進行中の大規模プロジェクト(一部)>

- ・尾州ウール跡地開発(愛知県稲沢市)/約13,470坪/商業賃貸/H24.8営業開始予定
- ・弥富商業開発(愛知県弥富市)/約8,230坪/商業賃貸/H24.4営業開始予定
- ・岐阜グランド跡地開発(岐阜県各務原市)/約6,190坪/宅地開発分譲(全81区画)/H24.1造成工事完了予定

19. コミュニティサービス事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 17,947百万円（前期比 9.5%増）
営業利益 540百万円（前期比 13.2%増）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①ハード・ソフト両面でのサービス追求による「圧倒的地域No.1店」戦略の推進
- ②「ニッケ介護村」を核とした介護事業の積極展開
- ③スマートフォン需要に対応した携帯電話販売事業の販売拡大、新規出店
- ④「ニッケピュアハートキッズランド」(屋内型児童遊戯施設)の新規出店
- ⑤スポーツスクール事業の会員数拡大

20. 生活流通事業の次期予想と取組み

業績予想

売上高 5,488百万円（前期比 3.3%増）
営業利益 89百万円（前期比 93.5%増）



第182期（2012年11月期）の取組み

- ①災害用備蓄毛布の拡販や業務用寝具のリバックスシステムの構築
- ②新規「簡易食器・製菓用品」および「ダンスドレス」事業の収益性向上
- ③インターネット通販の活用等による小売販売チャネルの強化
- ④記録的な円高に対応した貿易事業の再構築
- ⑤新規商材や新規事業の開発推進

21.NN120ビジョンの達成に向けて

**6事業領域・全方位で
限定せず、内向きにならず、外に向かう**

2012年度は第1次中期経営計画3ヵ年の実績をしっかりと検証したうえで、**次期中期経営計画（2013～2015）**を策定します。

次期経営計画においては、ニッケグループの目標であります

「売上高1,000億円、営業利益70億円」

を確実に達成し、更に上を目指せる「新しい事業価値の創出」の具体化に取り組んでまいります。

III. 株主還元方針

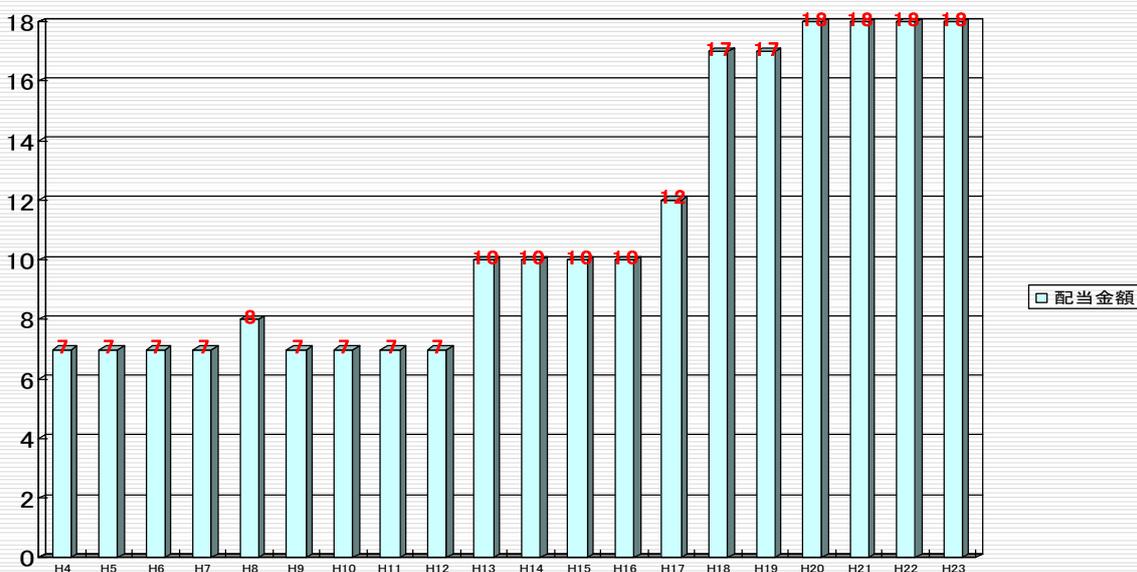
22.株主還元方針

利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げ。

次期についても引き続き年間1株当り18円を目標



23.過去20年の配当額の推移



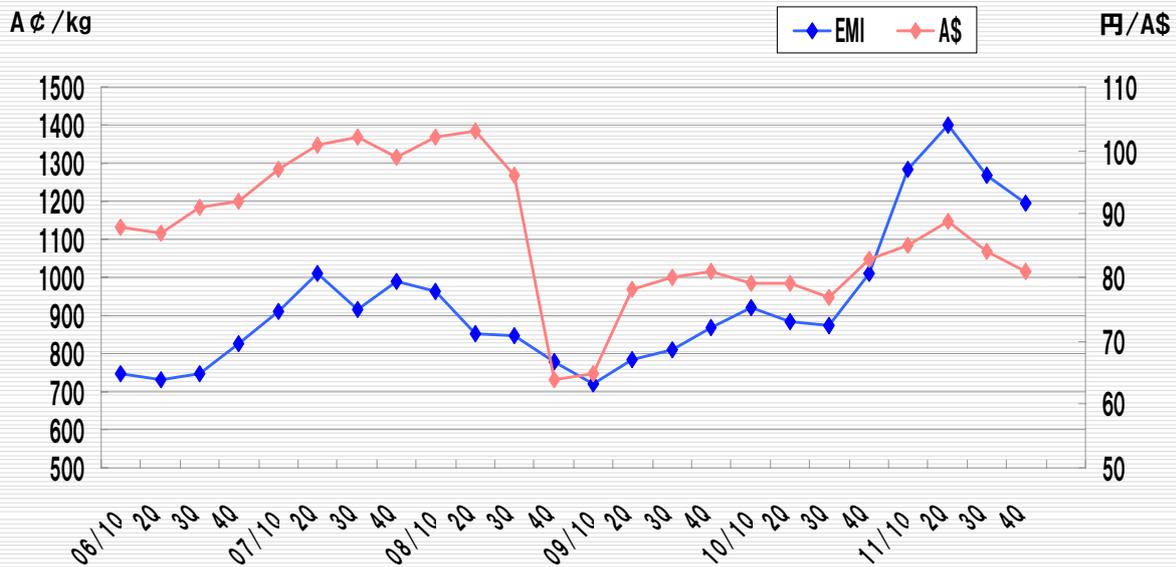
※平成8年は100周年記念配当により増配したもの

IV. ニッケグループの強み

24.ニッケグループの魅力と強みについて



(参考) 羊毛相場・為替相場の推移



本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。



う～るん